



まく ひと しごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.6

森産婦人科 / 西本町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。

今月は、医療法人ラフォーレ森産婦人科の助産師を取材しました。

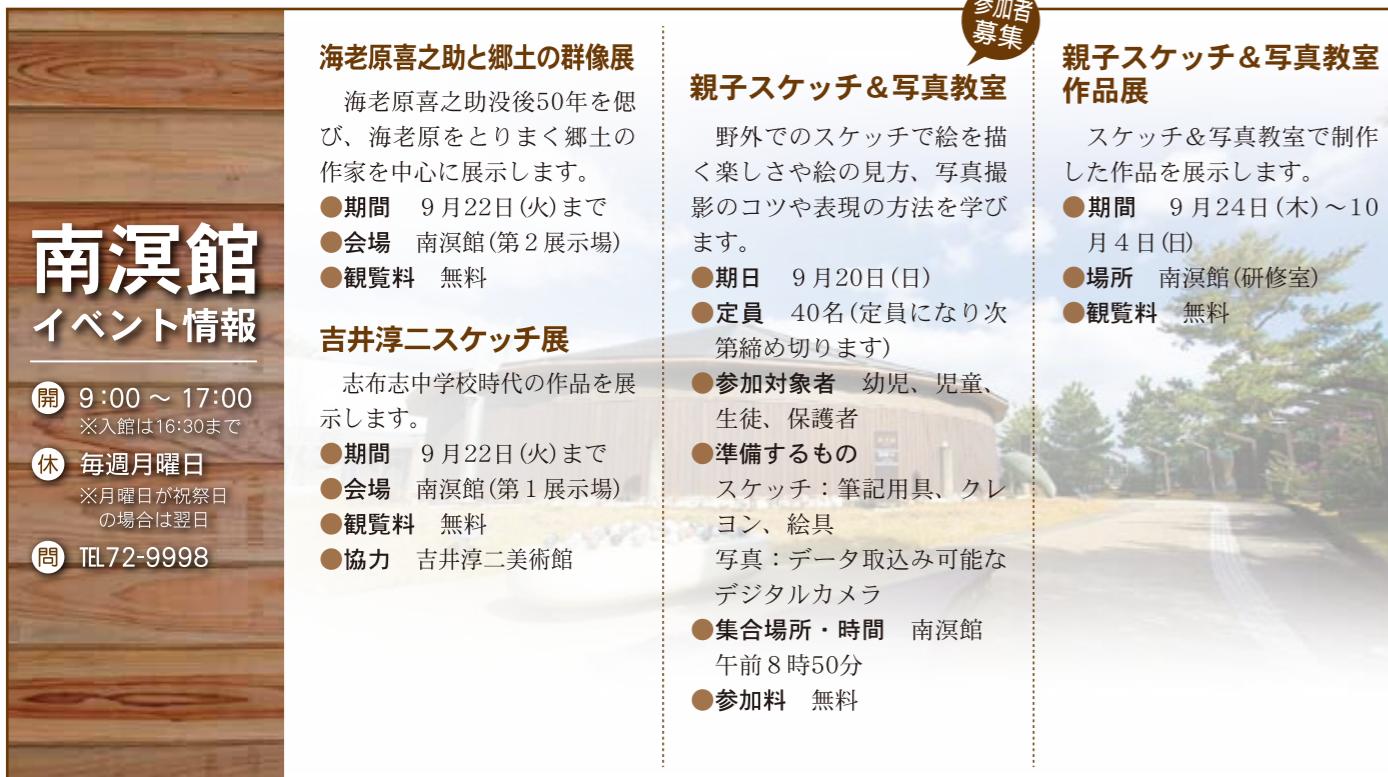


福元 弥由 さん (26)

本市唯一の産婦人科として、1915年から約1世紀に渡り地域の子どもの誕生を見守り続けている医療法人ラフォーレ森産婦人科。その森産婦人科で助産師として働いているのが、福元弥由さんです。

日置市出身の福元さんは、お姉さんが妊娠中につわりで辛そうにしている姿を見て、「何か力になりたい、専門的な知識を身につけたい」と思い、助産師を目指しました。高校を卒業後、県内の看護学校に3年間通い、看護師の資格を取得した後、助産師養成校に1年通いました。その時、実習先として森産婦人科を訪れ、妊娠期から産後のケアまで充実して支援を行っている様子や地元ならではの温かさに魅力を感じ、ここで動きたいと決意しました。

ました。「妊娠・出産を経験し、いつか自分もそのような言葉を伝えられるような、より一層お母さんたちにとつて身近な助産師になれたら」と今後の目標を話しました。



今月の担当は
りつか隊員です!



こんにちは、篠塚立夏です。
給付金10万円、何に使いましたか？私は、日本の広告業界を牽引する方々によるオンライン講座を半年間にわたって受けました。急速に変化を遂げる世界に喰らいついでいきます。

地域おこし協力隊 活動レポート

協力隊 が 行く!

静かに熱く盛り上がった「きばらん海ウイーク」

「旧鹿籠金山郵便局」が全国に名を馳せました

枕崎の、8月。

こんにちは。前田祝成です。
この文章を8月20日に書いています。市民の皆さんのお手元
このコラムが届くのは9月号ですが、今月は祝成ここにつけて

つであり、市を越えてそれはそれは多くの人から愛されるまつりなのだと、改めて実感することができた「きばらん海ウイーク」でした。

「旧鹿籠金山郵便局」が全国に名を馳せました

先日、人生で初めて「バズり」ました。「バズる」とはSNS等で情報が爆発的に拡散されることです。その内容は、旧鹿籠金山郵便局の売却について。築100年以上の風情あふれる物件です。その魅力を最大限に活かし、地域ぐるみで再生してくれる人の手に渡つてほしいとツイッターで宣伝をしましたところ、見事にバズり、560リツイート・1万2000いいねを獲得しました。爆発的拡散の影響はツイッターだけにとどまりません。名だたるウェブメディアから記事化依頼が来てヤフーニュースに載つたり、ラジオ番組で物件そのものについてや「バズ」の様子を語つたり…。おかげさまでたくさんの方の問い合わせをいたしました（もちろん感染症と熱中症へ細心の注意を払いながら）。うれしいことに、とっても素敵なお手さんが見つかりました。これから物件の再生を含め、金山地区、いや枕崎全体に新しい風を吹かせていくよう、私もできる限りの協力をしています。

枕崎で生まれ育った私は、8月になると、なぜか熱いものが体の中を流れる気がしています。いつもの月とは違う、8月には特別なアドレナリンが湧く感じがあります。例年は、港まつりが開催され三尺玉の花火に歓声を上げ、お盆を迎えて先祖に思いを馳せ、甲子園球場で開催される高校野球ではふるさとの代表の活躍に胸を躍らせる。年末年始よりも、この8月の時期が、より故郷を感じます。7月29日の枕崎大空襲の日から、8月6日の広島原爆の日、9日の長崎原爆の日、15日の終戦の日、と続く先の大戦を振り返ることの多いこの季節に平和の尊さや先祖への思い、自分自身の生き立ちにまで思いを巡らすことも、故郷をより強く感じさせるのかも知れません。その熱き8月ですが、今年は、祭りもない、三尺玉もない、お盆の帰省者も少なく、高校野球もいつもと違うものでした。

新型コロナウイルスの影響で、何もかもがいつもと違う8月でしたが、それだけにより強く心の中に、故郷・枕崎への強い思いを感じた今年の8月でもありました。皆さんの8月はどんな8月でしたか？

枕崎の8月は特別ですが、私にとっては、さらに特別な令和2年「枕崎の、8月。」となりました。

志摩
コラム

vol 18

